

みんなの願いは窓口無料 すすめる会ニュース 14-15号

2014年10月24日(金)

発行：福祉医療給付制度の改善をすすめる会

<http://www.medical-post.net/fukushi/>

(長野市高田中村276-8：長野県社保協内)

新たな気持ちで、子ども・障がい者の医療費窓口無料を求める県議会への請願署名運動を展開しよう！



↑ A4版署名用紙



↑ ハガキ署名用紙



↑ ポスター

石川県9月県議会 県知事が子ども医療費の窓口無料化検討を答弁 取り残される長野県！

石川県の谷本知事は、さきの石川県議会の予算委員会で子ども医療費について、現在の「償還払い方式」を「現物給付方式」（窓口無料化）に変更することを表明しました。

石川県では、子どもの医療費は月額自己負担の上限額を1,000円としてそれを超える医療費を助成していますが、長野県同様に償還払い方式のため一旦窓口で全額支払いが必要です。また、長野県とは違って毎月の申請も必要となっています。更に、石川県では市町が独自に現物給付方式にした場合には県から市町への福祉医療給付費の補助を中止するといった要綱を定めています。

このように石川県では子ども医療費の現物給付化について消極的な立場でしたが、従来の方針を転換して、現物給付方式の検討に入り、来年度にも導入される可能性が出てきました。

石川県知事の英断による窓口無料化に向けた方針転換によって、全国47都道府県のうち、県の制度で子ども医療費の窓口無料制度とっていない10道県の一角が崩れようとしています。長野県が取り残されようとしています。

県知事の英断を求めるためにも、県議会の後押しが必要です。来年4月の県議会議員選挙に向け、県議会への請願運動を盛り上げましょう！